

県内初の「電子お薬手帳」

処方された薬の情報が一覧できる「電子お薬手帳」。県内で初めての導入



永富調剤薬局が導入

服薬履歴、一目で

会(東京都)を中心に構築したシステムで、導入は全国でも2番目という。グループを含む全25店舗で対応する。店頭で電子版の登録を希望する顧客にカードIDを配布。インターネット上で会員登録すると専用ページができ、情報が閲覧できる。同社で調剤した薬の情報は各店舗が登録する。

永富調剤薬局(本社・大分市)

携帯電話に薬の服用時間を自動

は1日から県内で初めて「電子お薬手帳」を導入した。従来の冊子の手帳と違い、薬の情報を電子化することで、いつでもどんな薬が処方されたかが一括管理でき、薬の併用や重複投薬を防げる。小さな子どもや離れて暮らす家族の健康状態のチェック、災害時、旅行時の投薬などにも役立てられるという。

合サイトとなっている。

同社の安江美由紀薬局本部長は「病院との連携や服薬履歴を見ながら薬局で相談に応じるなどさまざまな活用が期待できる」としている。従来の冊子型の手帳も今まで通り配布する。

電子お薬手帳は日本保険薬局協